

# 一般社団法人東京高専技術懇談会ニュース

2011年3月、4月合併号

一般社団法人東京高専技術懇談会発行

**このたびの東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。**

## 東京高専で平成22年度卒業式が挙行されました

3月19日(土)、東京高専の本科卒業証書授与式並びに専攻科修了証書授与式が行われました。当初、八王子市内のいちょうホールで行われる予定でしたが、3月11日の東日本大震災の影響で東京高専第1体育館に場所を変更して挙行されました。

式に先立ち参加者全員で東日本大震災で亡くなられた方々に対し黙祷が捧げられました。

本科卒業生170名、専攻科修了生24名の計194名が巣立って行きました。就職した者は本科83名、専攻科13名で、このうち本会会員企業に就職した者は12名(本科11名、専攻科1名)です。

当日は余震が続く中での開催であったため、卒業生名を読み上げる際の卒業生の返事と起立はなく、例年より簡素化された式となりました。また、式後の祝賀会も中止となりました。卒業生諸君にとって物足りない式であったかもしれませんが、多くの高校、大学で卒業式の中止が続く中、簡素ながらも無事式を挙行できたことは喜ばしいことです。

本会からも会長、副会長、理事が来賓として参列しました。



来賓として挨拶される黒須八王子市長

## 東京高専で平成23年度入学式が挙行されました

4月4日(月)、東京高専の本科および専攻科入学式が第1体育館で行われました。本科1年生205名、3学年編入留学生7人(マレーシア、ウガンダ、ベトナム、インドネシア)、専攻科1年生31名の計243名が入学しました。

古屋校長は校長告辞として、不可能を可能にする技術者の仕事の素晴らしさ、技術者の素晴らしさについてご自身の経験を踏まえて新入生に語られました。

本会から会長、副会長、理事が来賓として参列しました。大田会長は来賓として挨拶されました。社会を変えるのは技術者であることを、過去から現在に至るまでのさまざまな技術革新とそれに伴う社会の変化について言及され、技術者の道を志した新入生にエールを送りました。

## 東京高専も学年暦を変更しました

震災に伴う夏場の電力節減のために、東京高専でも23年度前期の学年暦を変更しました。当初は8月10日(水)までを前期としていましたが、7月22日(金)で前期末試験を終了し、7月23日(土)から9月25日(日)までの2ヶ月を夏休みとしました。このため、平日に予定されていたスポーツ大会と全校工場見学を授業に振り替え、さらに5月と6月の4回の土曜日を授業日としました。東京工業大学でも7月末で前期を終了する措置をとっています。

## インターンシップ生受け入れにご協力ください

東京高専では4年生に夏休み期間中の2週間程度、専攻科1年生に1ヶ月の学外実習(インターンシップ)を義務付けています。昨年は約200名の本科4年生と専攻科1年生の3人に1人が本会会員企業でインターンシップを体験しました。すでに本会会員にはインターンシップ受け入れの可否をお伺いする書状が送られていると思います。

インターンシップ終了後、報告書を作成し夏休み明けに報告会を学内で開催します。本科の場合は学科ごとに行われます。専攻科の場合は、専攻科として11月初旬に開催されます。いずれも、企業の皆さんにもご出席いただいています。昨年度の専攻科におけるインターンシップの報告書を同封しました。インターンシップ生の受け入れを検討されている会員企業の皆さんは是非参考になって下さい。インターンシップの内容についてご質問等があれば副会長の三谷教員(TEL:042-668-5071、E-mail:mitani@tokyo-ct.ac.jp)までご連絡ください。

## 事務局より

東日本大震災はまさに未曾有の出来事でした。東北地方の復興とともに、日本のエネルギー供給をどのようにするかは、全国民が真剣に考えなければならない命題になりました。技術懇談会でも議論の機会を設けたいと思います。